

東証JASDAQ・名証二部

証券コード：2185

CMC GROUP

株式会社シイエム・シイ

2021年9月期 通期決算・成長戦略説明

1.業績報告

2.中期経営計画の振り返り

(2019年9月期～2021年9月期)

3.成長戦略、業績見通し

4.参考資料

1.業績報告

増収・増益（過去最高益）を達成

マニュアル案件は順調に推移、各種教育・イベント案件ではオンライン化が加速。
デジタル化の需要に対応したサービス・商材の提供、原価低減活動の継続。

単位:百万円

	2020年9月期	2021年9月期	前期比
売上高	17,071	17,331	+1.5%
売上総利益	5,998	6,541	+9.1%
営業利益	1,818	2,277	+25.2%
(営業利益率)	(10.7%)	(13.1%)	(+2.5 ^{ポイント})
経常利益	1,827	2,421	+32.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,354	1,618	+19.5%
EPS（※）	96.64円	118.93円	+22.29円
ROE	9.2%	10.4%	+1.2 ^{ポイント}

※2021年10月1日付で1株につき2株の株式分割を実施。2020年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定しEPSを算定。

貸借対照表

単位:百万円

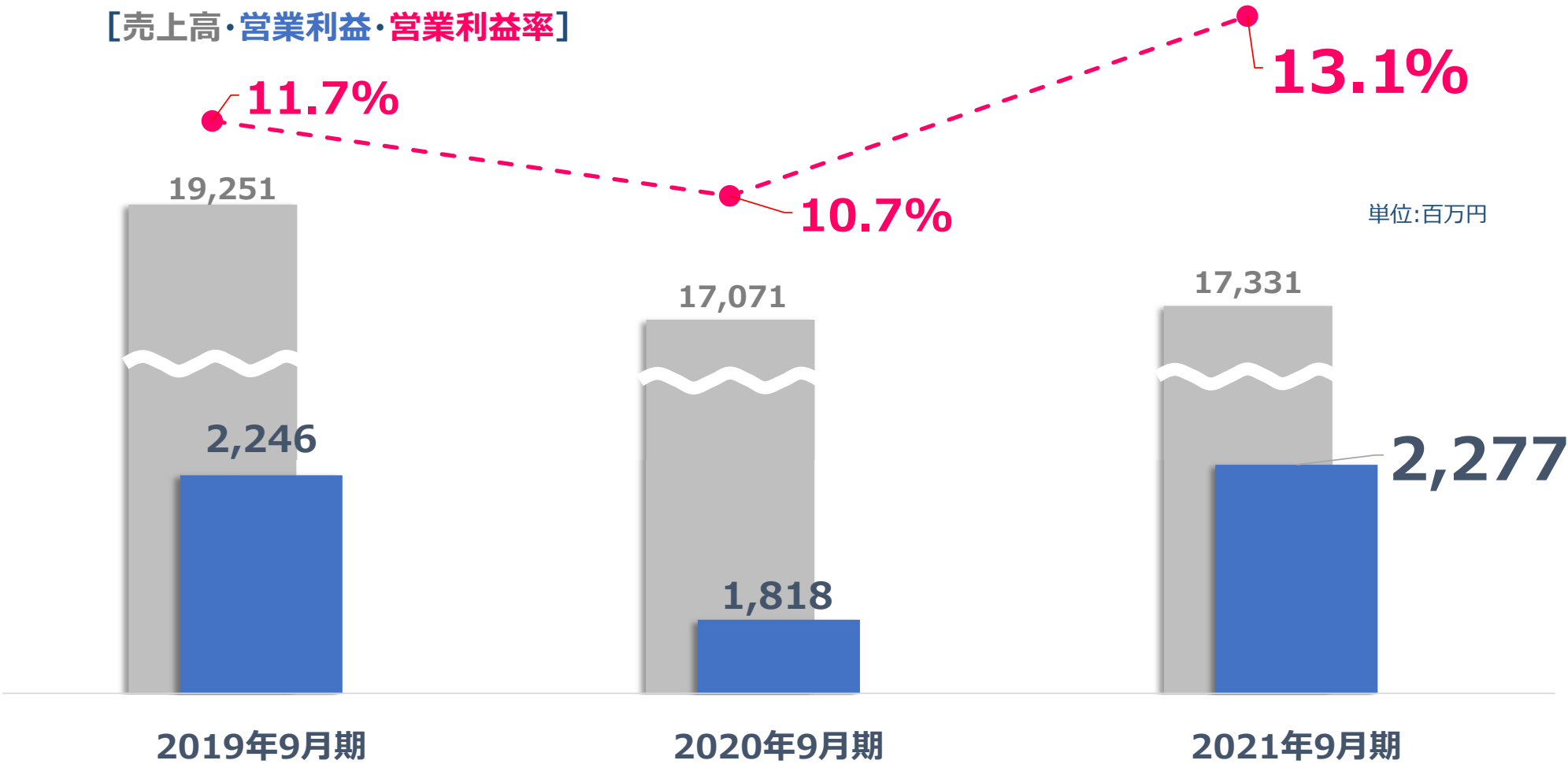
資産の部	2020年9月末	2021年9月末	差額
流動資産	13,696	15,261	+1,564
（内、現金及び預金）	9,386	9,931	+544
固定資産	5,991	5,807	▲183
資産合計	19,687	21,068	+1,381

負債及び純資産の部	2020年9月末	2021年9月末	差額
流動負債	2,618	3,455	+836
固定負債	1,650	1,650	0
負債合計	4,268	5,106	+837
株主資本	14,920	15,441	+520
その他	498	521	+22
純資産合計	15,419	15,962	+543
負債純資産合計	19,687	21,068	+1,381

3カ年の振り返り：利益構造の変化

顧客のデジタル化の需要に対応したサービス・商材の提供に伴い、**収益構造が変化。**

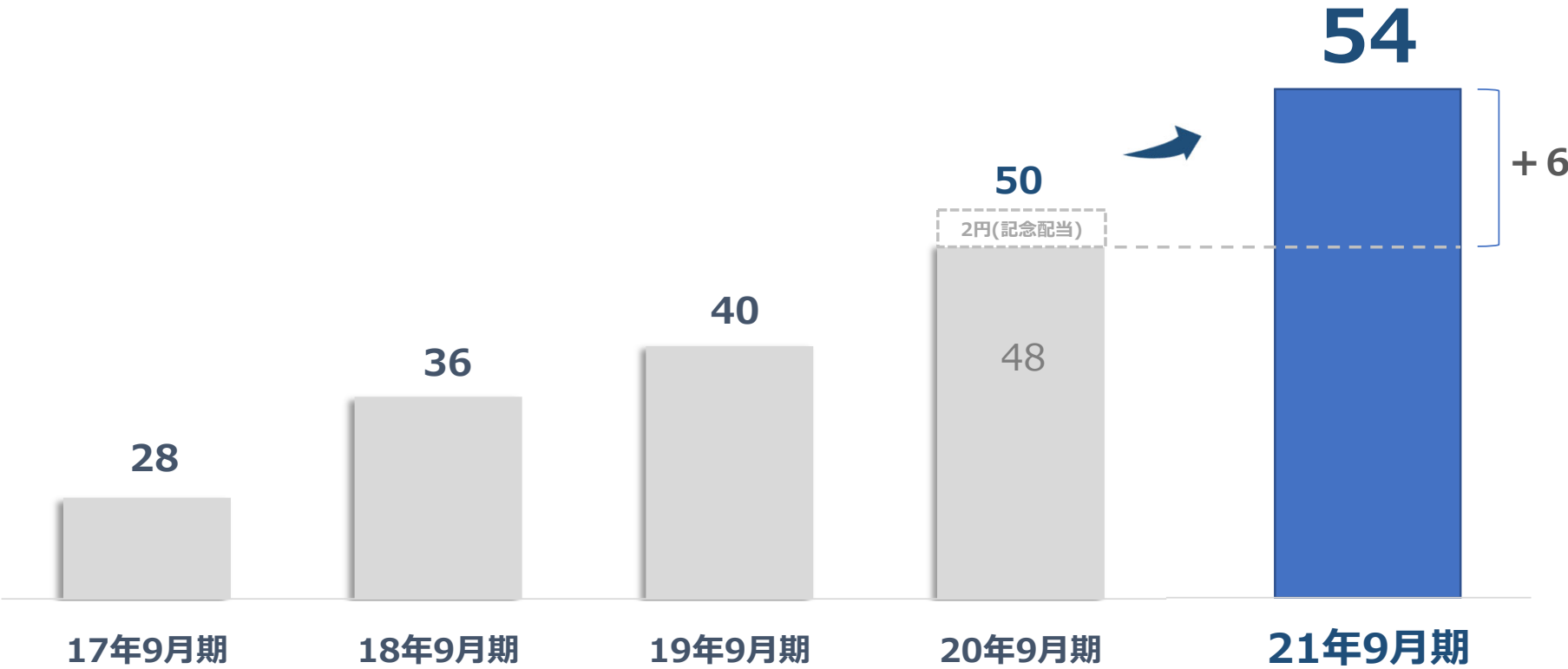
[売上高・営業利益・営業利益率]



4期連続の増配

業績動向、財務体質、将来に向けた投資に必要な内部留保等を総合的に勘案し、
配当金額の継続的な増額を実施。

単位:円



機動的な資本政策の実施



主力、注力
市場の拡大
医療・医薬品、
物流、ロボティクスなど



モビリティ市場の
拡大と深耕



海外市場の
拡大と深耕



戦略的M&Aの
推進による
市場拡大・
商材強化



ICT活用による
生産性の
飛躍的向上



自己株式の取得

総額 約7億8千万円を取得

- ・株主還元の充実
- ・資本効率の向上

N-NET3による買付：2021年2月実施 200,000株取得
市場買付：2021年5月～7月実施 108,500株取得



株式分割

1株につき 2株の割合で分割

- ・流動性の向上
- ・投資家の拡大

基準日：2021年9月30日(木)
効力発生日：2021年10月1日(金)



継続的増配、
機動的な資本政策

総還元性向 70.4%

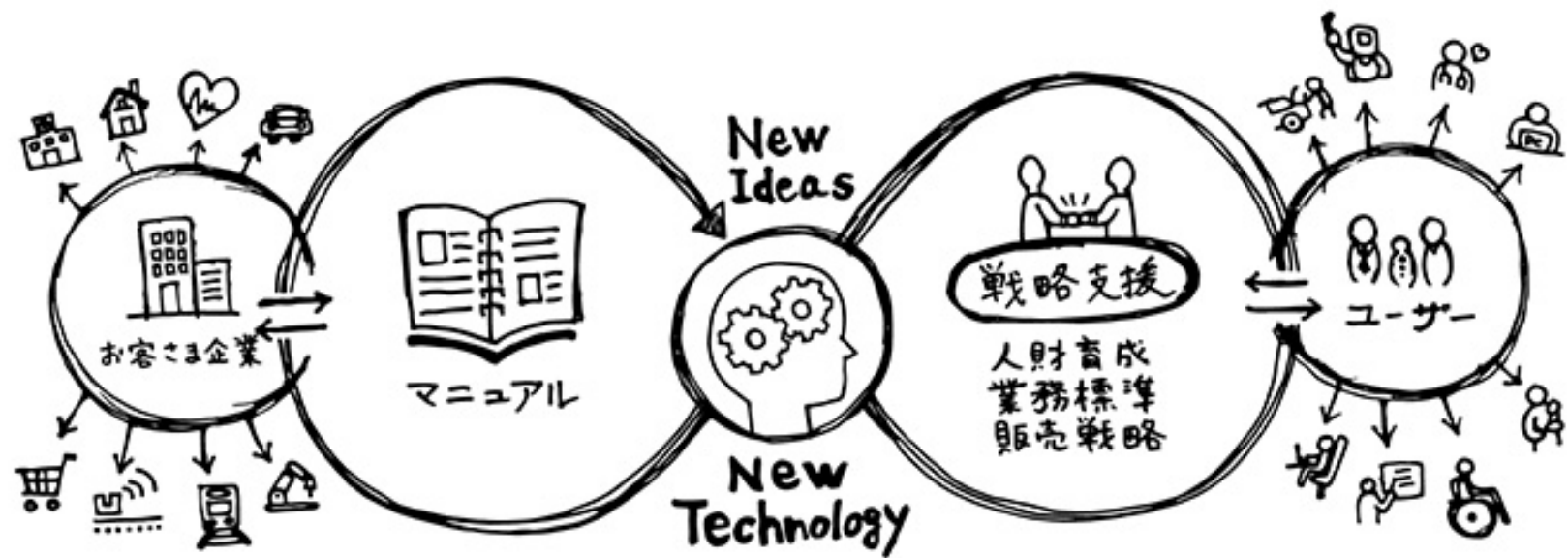
2. 中期経営計画の振り返り

-2019年9月期～2021年9月期-

ビジネスモデル戦略

「マニュアル制作」を通じて
お客さま企業を深く理解し、

「戦略支援」を通じて
ユーザーを深く理解する。



このサイクルを回し続けることで、持続的な需要 と 高い参入障壁 が生まれ、
独自のビジネスエコシステムを構築。

振り返り① -モビリティ市場の拡大と深耕-

主力、注力
市場の拡大
医療・健康食品、
物流、EVデバイスなど

モビリティ市場の拡大と深耕

海外市場の
拡大と深耕

戦略的M&Aの
推進による
市場拡大・
商材強化

ICT活用による
生産性の飛躍的向上

継続的増配、
機動的な資本政策

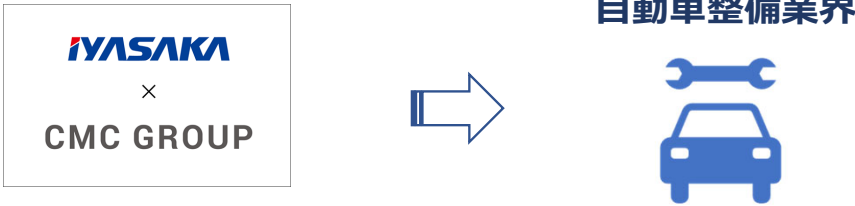
農機・建機メーカー、国内自動車メーカーの
CASE対応、グローバル展開に応じて、
DX化支援に取り組み、市場の拡大、深耕が進む。

農機・建機メーカー 自動車メーカー



国内自動車整備業界へ、CASE対応、DX化支援。
業界に知見を持つ株式会社イヤサカと業務提携。

自動車整備業界



振り返り② -注力市場（製造業）の拡大-



主力、注力市場の拡大
製造、医療・医薬品、
物流、ロボティクスなど



モビリティ市場の
拡大と深耕



海外市場の
拡大と深耕



戦略的M&Aの
推進による
市場拡大・
商材強化



ICT活用による
生産性の飛躍的向上



継続的増配、
機動的な資本政策

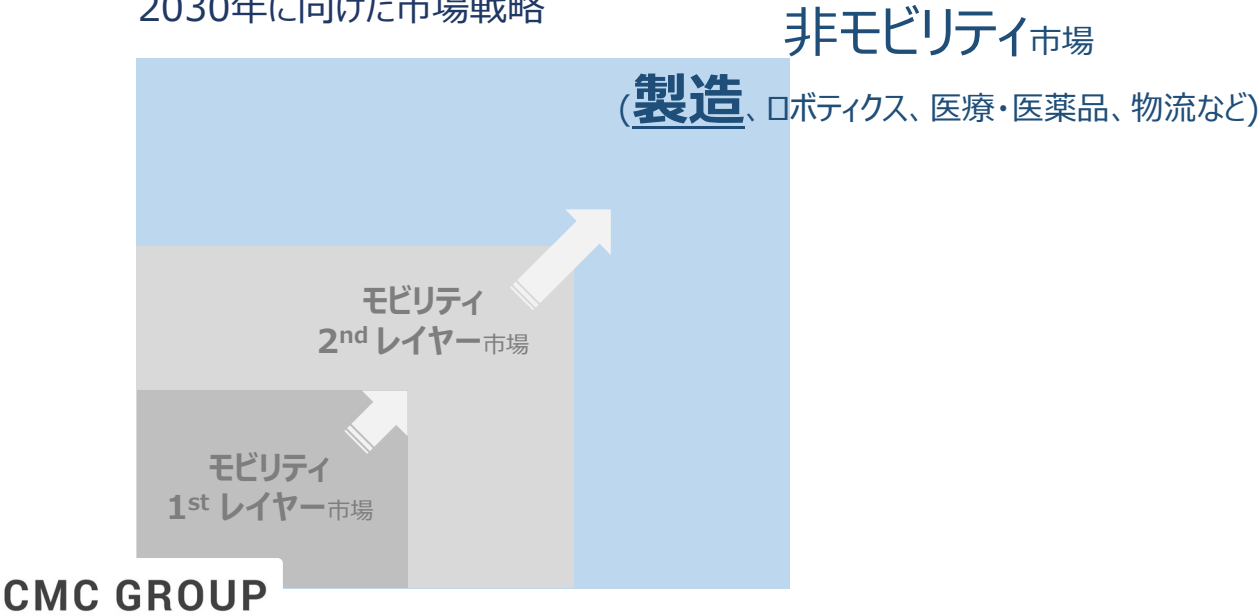
工作機械メーカー



製造業における販売のオンラインシフトが加速。

技術情報と販売活動の連携を目指した
セールスDXをサポート。

2030年に向けた市場戦略



振り返り③ -注力市場（医療・医薬品）の拡大-



主力、注力市場の拡大
製造、医療・医薬品、
物流、ロボティクスなど



モビリティ市場の
拡大と深耕



海外市場の
拡大と深耕



戦略的M&Aの
推進による
市場拡大・
商材強化



ICT活用による
生産性の飛躍的向上



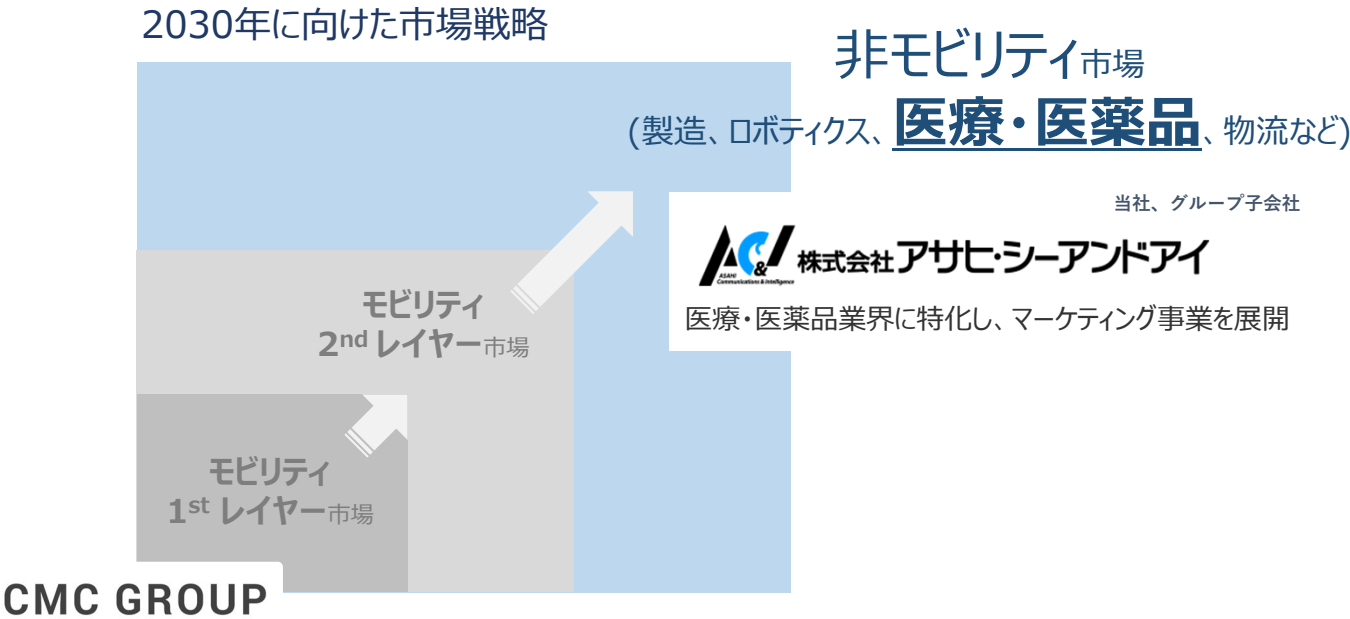
継続的増配、
機動的な資本政策

医薬品メーカー



医療・医薬品業界でデジタル化が加速。

学術に関する知見を活かし、**医薬品メーカーへ**
VRなど先端技術を活用した**教育研修の取組みが拡大。**



振り返り④ -KAIZEN FARMの開発-

 主力、注力
市場の拡大
医療・医薬品、
物流、ITデバイスなど

 モビリティ市場の
拡大・深耕

 海外市場の
拡大・深耕

 戦略的M&Aの
推進による
市場拡大・
商材強化

 ICT活用による
生産性の飛躍的向上

 継続的増配、
機動的な資本政策

業務改善に対するニーズの高まりを背景に、
当社のノウハウを集約し、業務手順の棚卸を
支援するシステムを開発。

特許
出願中

カイゼンの
種を蒔こう。

この種には、あなたの会社の
業務のノウハウや手順などを入力することができます。
この種をいっぱい増やして
あなたのオフィスの「KAIZEN FARM」で育てていきましょう。
より効率的に改善するための
「DX」という栄養素をふんだんに与えることで
あなたや会社の業務効率や品質向上が格段に改善されます。
さあ、KAIZEN FARM に種を蒔いて、
オフィスに笑顔を咲かせましょう。

あなたの頭の中にある
カイゼンの種となる情報を
KAIZEN FARM に
入力するだけです。

必要な情報を順番通りに入力するだけで、
栄養素であるDX連携ツールによって
最適な改善策を生み出すことが可能です。

特許
出願中

特許
出願中

KAIZEN FARMで
未来の仕事のあり方を変えていこう。

私たちのビジネス業務における様々な課題は
その職種、その状況によって、
実に多種多様です。
それぞれの課題にあった
カタチにマッチする改善策を導き出し
業務効率や品質向上の花を咲かせます。



知識集約型のビジネスプラットフォーム
「KAIZEN FARM」を10/1に提供開始。

振り返り④ -KAIZEN FARMの開発-

KAIZEN FARMで蓄積した情報は連携DXツールにスムーズに接続可能。
働き方改革、お客さま企業のDX推進をサポート。



主力、注力
市場の拡大
医療・医薬品、
物流、ITサービスなど



モビリティ市場の
拡大・深耕



海外市場の
拡大・深耕



戦略的M&Aの
推進による
市場拡大・
商材強化



ICT活用による
生産性の飛躍的向上



継続的増配、
機動的な資本政策



電子マニュアル



KNOWLEDGE
CONNECT

CMC GROUP

RPA



BizRobo!



RPA
TECHNOLOGIES

チャットボット



AIお問合せシステム
AI-Q
[アールキュー]



木村情報技術株式会社
KIMURA INFORMATION TECHNOLOGY CO., LTD.

振り返り⑤ -SDGs・ESGの取組み-

ビジネスモデル変革や職場環境整備の取組みを通じて
SDGs・ESGの取組みへ貢献



岐阜市連携協定活動にて、
環境負荷軽減に貢献

業務改善取組みを通じて、
出力用紙の大幅削減を実現

(検証期間：2020年8月1日～10月31日)



従業員とその家族の健康・幸せな生活と、
モチベーション高く楽しく働ける職場づくりを通じ、

持続的な成長と社会の発展に貢献

3.成長戦略、業績見通し

ビジネスモデル実現のためのキーワード「人財」と「データ」

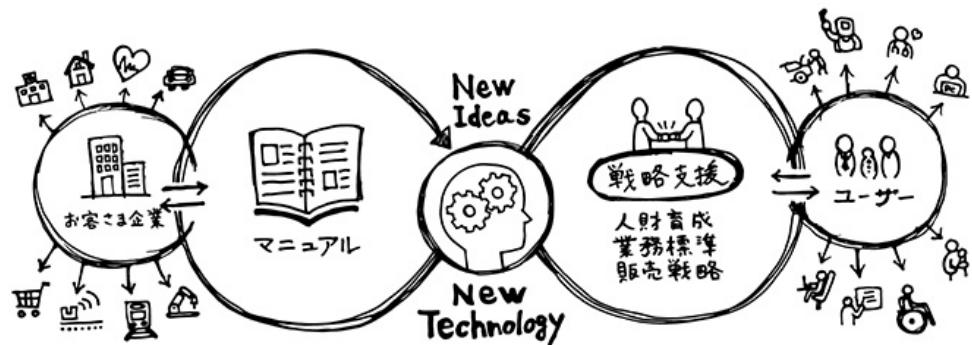
我々が創り出す情報のユーザーエクスペリエンスを最大化し、
ビジネスを次世代の価値に進化させる

人財を育てる

次代の価値をつくる
ための人財育成

データを育てる

次代の資産とするため
のデータ育成



Manuals & Knowledge

成長・変革推進のための
次世代人財育成

- ・次世代育成（Z世代）

情報価値を高めるため
のデータ育成

- ・“人にやさしい・機械にやさしい”
データ

人財を育てる | 時代に合った人財育成の取り組み例

ゲーミフィケーションの技術や仕組みを
実際に体験し・学び、実ビジネスへの応用・活用を図る。

愛知eスポーツ連合賛助会員加盟

eスポーツの普及・発展を通して、経済社会の発展に貢献
一般社団法人 愛知eスポーツ連合 賛助会員に入会

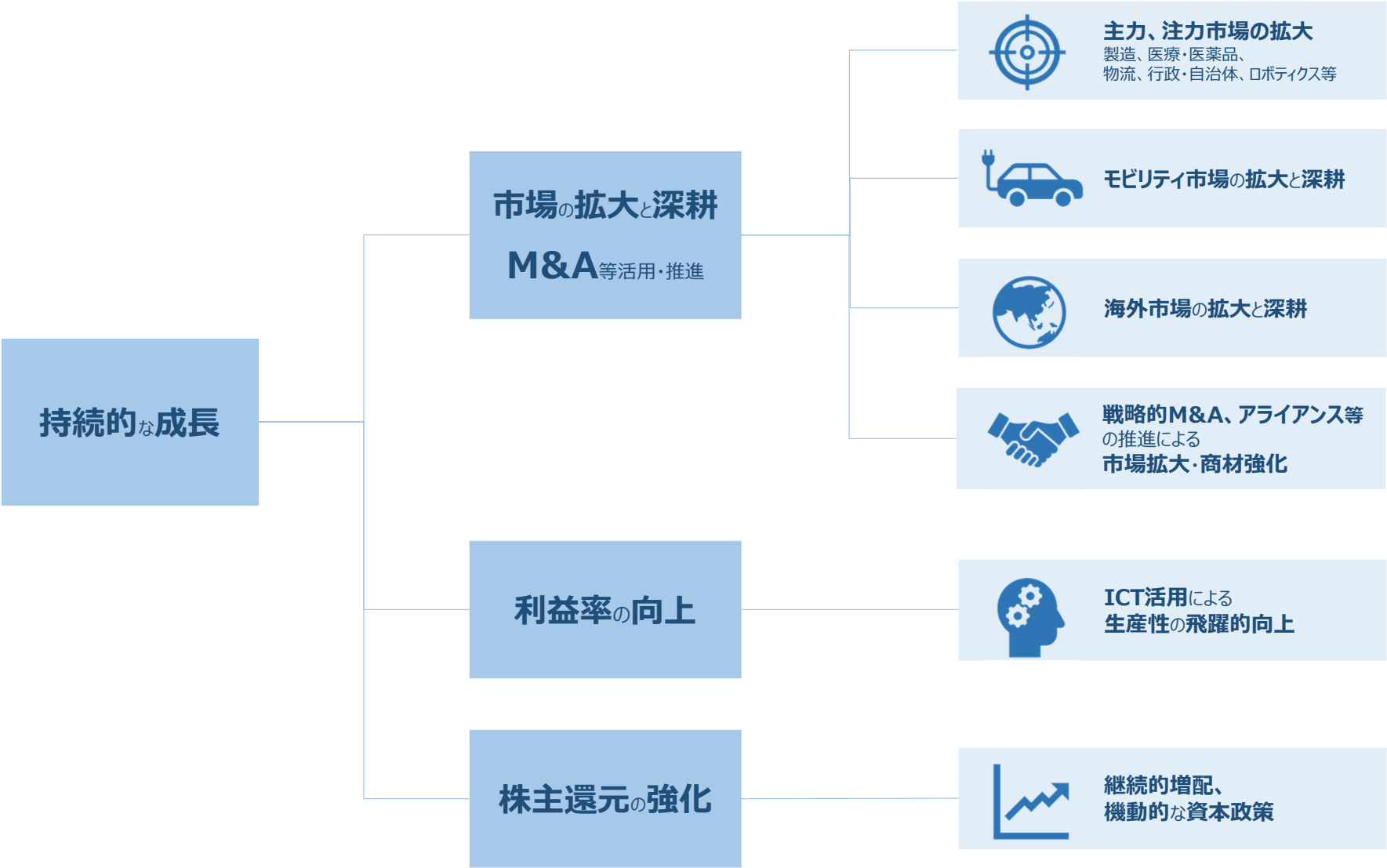


(写真提供：日本eスポーツ連合)

eスポーツを活用した社内懇親イベント



成長戦略ロードマップ°



増収・増益を予想
新中期経営計画スタート

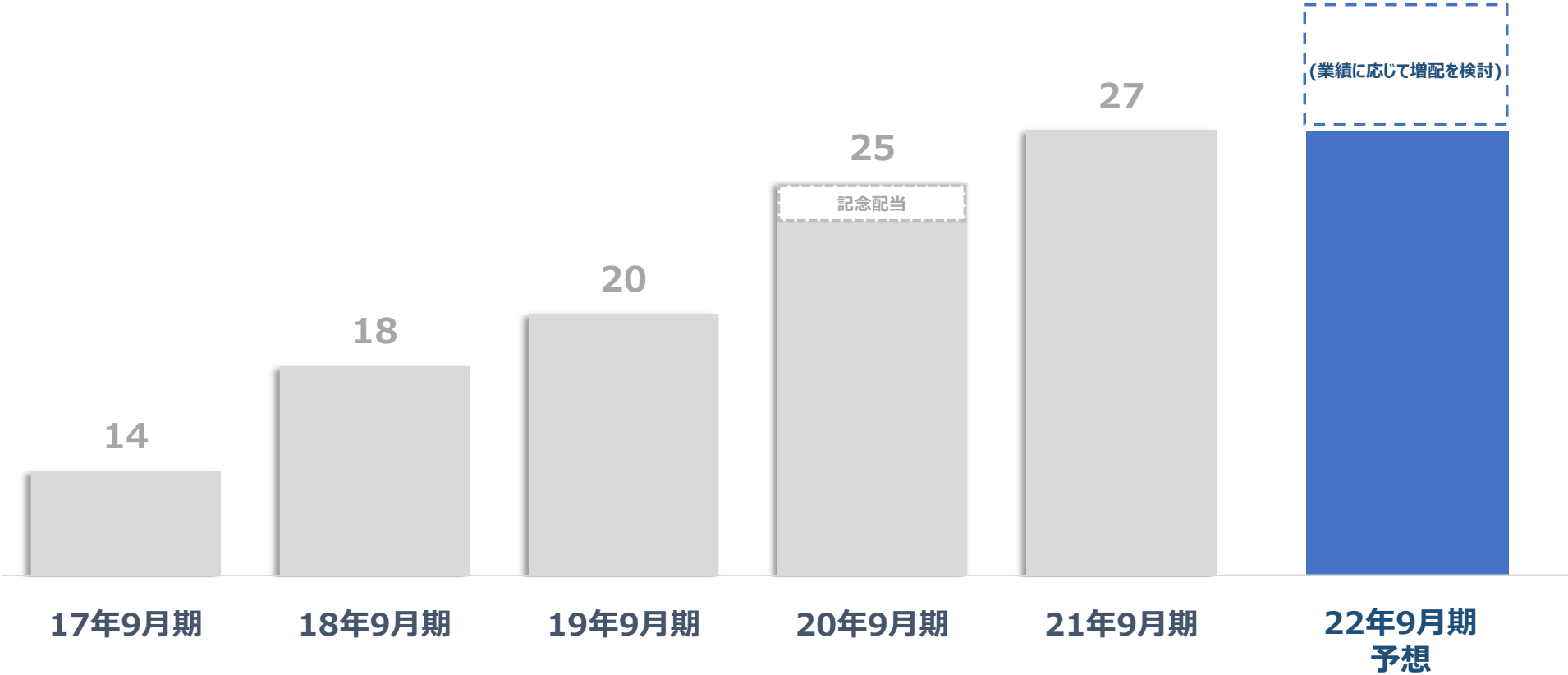
単位:百万円

	2021年9月期	2022年9月期 (予想)	前期比
売上高	17,331	19,500	+12.5%
営業利益	2,277	2,600	+14.2%
(営業利益率)	(13.1%)	(13.3%)	(+0.2 ^{ポイント})
経常利益	2,421	2,700	+11.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,618	1,800	+11.2%
EPS	118.93円	135.35円	+16.42円
ROE	10.4%	10.7%	+0.3 ^{ポイント}

継続的な増配を検討

継続的な増配をめざす方針のもと、業績の進捗状況に応じて増配を検討。

単位:円



※2021年10月1日付で1株につき2株の株式分割を実施。2020年9月期以前については、当該株式分割が行われたと仮定し、算定した額を記載。

報告セグメントの変更（2022年9月期～）

お客さま企業への理解をもとに各事業をつなげ、包括的なサービス提供をめざし、

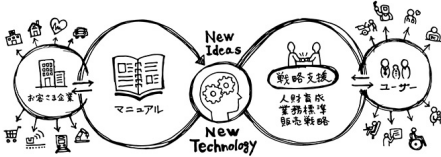
従来の「マーケティング事業」「システム開発事業」を
「Manuals&Knowledge事業」の単一セグメントへ変更

従来

- マーケティング事業
- システム開発事業

2022年9月期～

Manuals
&
Knowledge事業



2022年5月25日で創立60周年

シイエム・シイは、

2022年5月25日、創立 **60** 周年を迎えます。

CMC GROUP

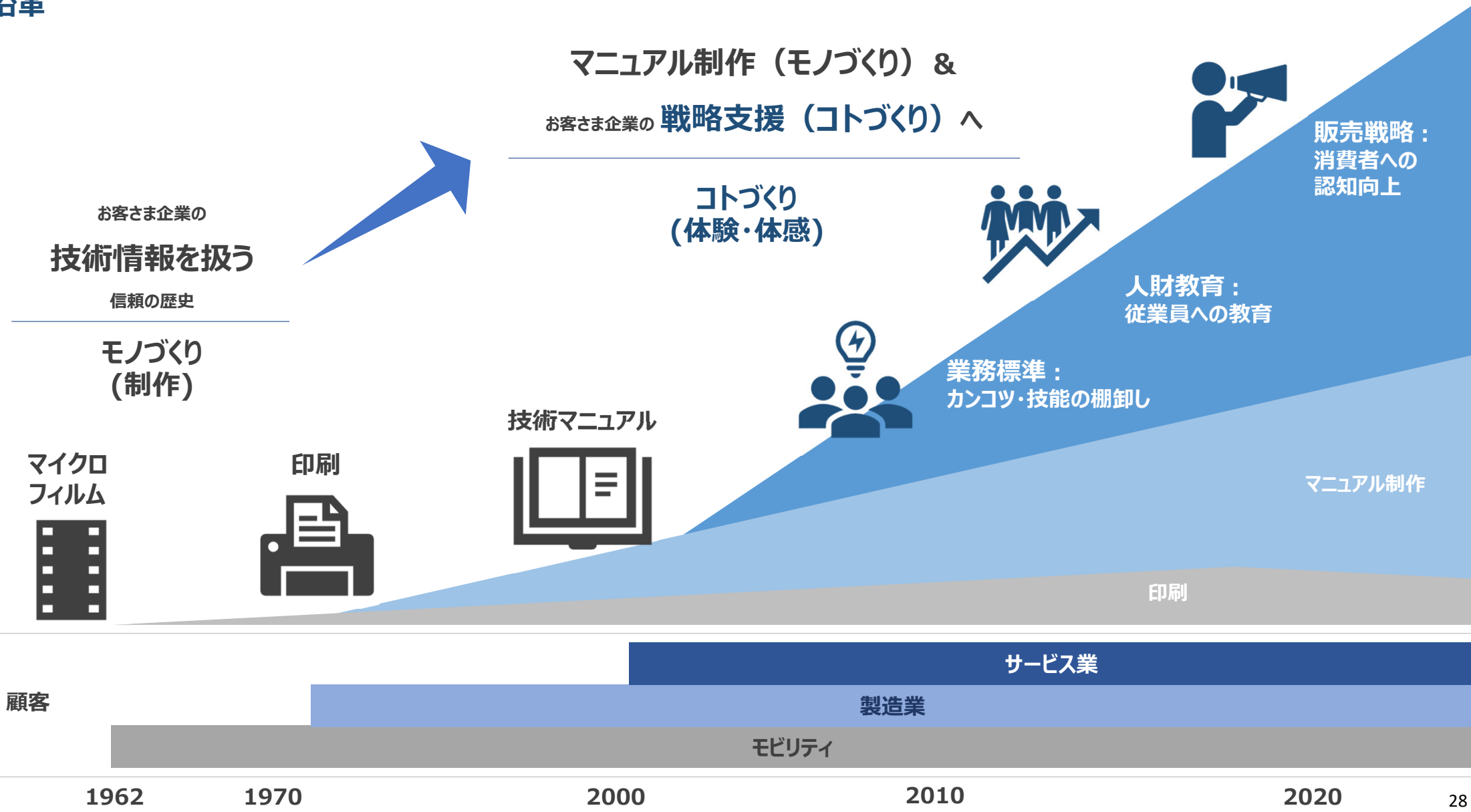
**2022年9月期 第1四半期累計期間の決算発表は、
2022年2月10日（木）を予定しております。**

4. 參考資料

参考資料 企業プロフィール

▶社名	株式会社 シイエム・シイ
▶設立	1962年 5 月
▶住所	名古屋市中区平和 1 - 1 - 19
▶代表者	代表取締役社長 佐々 幸恭
▶資本金	6億5,761万円
▶従業員数	441名（単体） / 934名（連結）
▶グループ会社・拠点	19社（国内9社、海外10社） 31拠点（国内16拠点、海外15拠点）

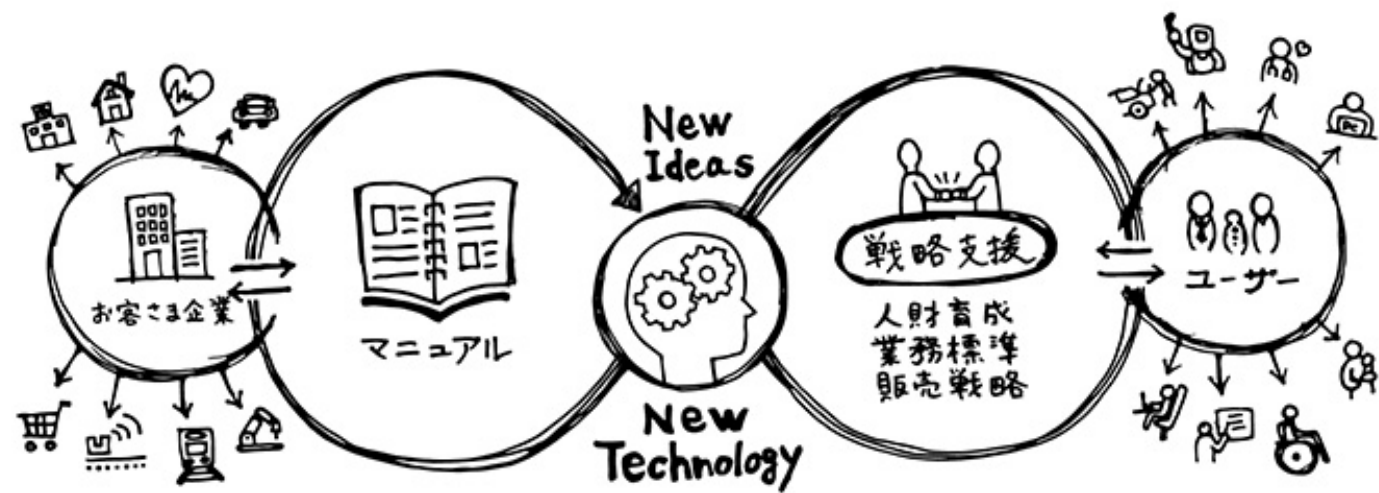
※2021年9月30現在



ビジネスモデル戦略

「マニュアル制作」を通じて
お客さま企業を深く理解し、

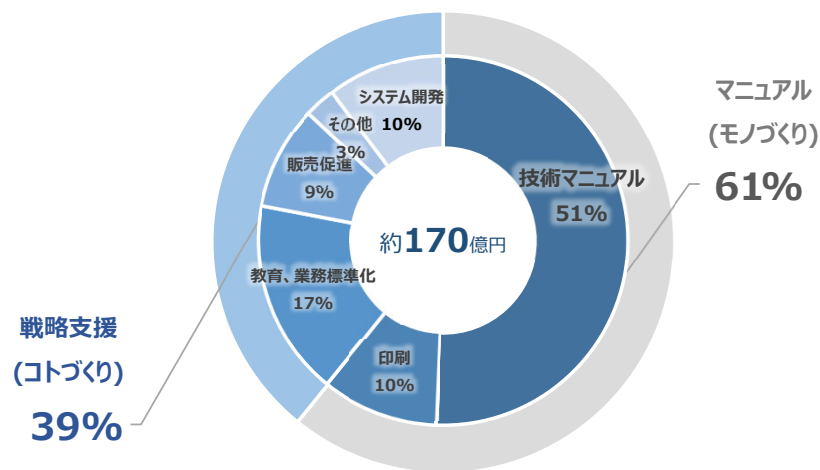
「戦略支援」を通じて
ユーザーを深く理解する。



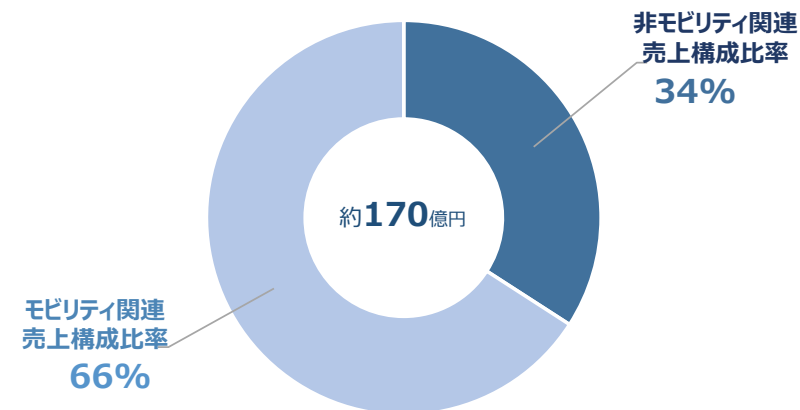
このサイクルを回し続けることで、
持続的な需要 と 高い参入障壁 が生まれ、
独自のビジネスエコシステムを構築。

経営概況（2021年9月期末時点）

売上構成 |

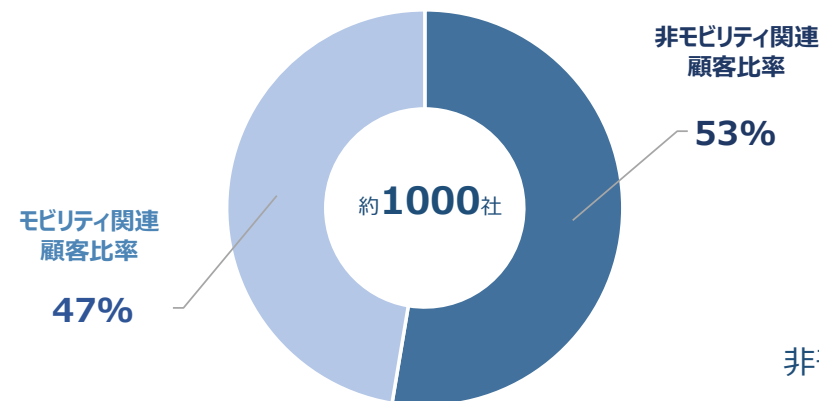


マニュアル（モノづくり）を基盤として、
戦略支援（コトづくり）が全体の約**40%**まで成長



モビリティ関連を深耕しつつ、
非モビリティ関連が**34%**まで拡大

顧客構成 |



顧客構成においても
非モビリティ関連社数が**53%**と市場拡大中

Who we are



時代の変化に対応し、
変わり続ける

約 **0** 個

創業時から続く
商材の数



一流企業に鍛え上げられた
品質と信頼性

約 **60** 年

大手自動車会社との
取引年数



仲間づくりと
グループ総力の結集

約 **8** 倍

グループ3社
M&A前後の
営業利益増加



圧倒的なナレッジと経験を持つ
マニュアル業界最大手

約 **50** %

大手自動車会社における
技術マニュアルの
当社シェア



最尖端ICT技術の
開発・活用

約 **25** %

グループ全従業員
ICT人材比率



利益・配当の
継続成長

4 期連続

直近の実績で
4期連続増配

参考資料 経営指標

連結損益計算書	単位	19年9月期通期	20年9月期通期	21年9月期通期	22年9月期 予想(※3)
売上高	百万円	19,251	17,071	17,331	19,500
売上総利益	百万円	7,106	5,998	6,541	-
営業利益	百万円	2,246	1,818	2,277	2,600
経常利益	百万円	2,248	1,827	2,421	2,700
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	1,314	1,354	1,618	1,800
売上総利益率	%	36.9	35.1	37.7	-
営業利益率	%	11.7	10.7	13.1	13.3
経常利益率	%	11.7	10.7	14.0	13.8
当期純利益率 ※1	%	6.8	7.9	9.3	9.2

※1 当期純利益率＝親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 売上高

その他の指標	単位	19年9月期通期	20年9月期通期	21年9月期通期	22年9月期 予想(※3)
BPS(1株当たり純資産額) ※2	円	1,013.45	1,103.29	1,194.24	1,329.58
EPS(1株当たり当期純利益) ※2	円	94.34	96.64	118.93	135.35
ROE	%	9.7	9.2	10.4	10.7
ROA	%	12.4	9.5	11.9	12.3
PER	倍	10.7	10.1	11.3	9.9
配当性向	%	21.2	25.9	22.7	19.9
従業員数	名	1,001	972	934	934

※2 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
2019年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益を算定しております。

※3 2022年9月期業績予想につきましては、一部、2021年9月末実績とそれに基づく予想値をもとに算定しております。

North America

アメリカ



CMC PRODUCTIONS USA INC.

Europe

ポーランド



Maruboshi Central & Eastern Europe Sp. zo.o.

オランダ



Maruboshi Europe B.V.

フランス



Maruboshi Europe E.U.R.L.

Asia

中国



広州国超森茂森信息科技有限公司
広州市丸星資訊科技有限公司
北京国超森茂森網絡科技有限公司

台湾



台灣丸星資訊科技股份有限公司

タイ



CMC ASIA PACIFIC CO., LTD.
Maruboshi (Thailand) Co., Ltd.

シンガポール



CMC ASIA PACIFIC CO., LTD.

海外

8ヶ国 15拠点

参考資料 将来の見通しについて

この資料は、株式会社シイエム・シイ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資をおこなう際は、投資家の皆さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

お問い合わせ先
株式会社シイエム・シイ 経営企画部 I R担当 052-322-3386

I Rサイト <https://www.cmc.co.jp/ir/>